第23割33敦賀の未来 字人当日内工会議ア「会議の 学校の



市長をはじめ来賓より祝 その後、西川知事、河瀬 した。 と新年の挨拶をいたしま

辞をいただき、会の途中では抽選会も実施し、なごやかに開催いたしました。

出や、地域の産業構造の改革に取り組んでい 文字どおり、企業や大学、 めていく必要がある。県や の拡大や、上海航路の継続、新規航路開拓を進 流人口の拡大対策を急が 開業を目指し、また舞鶴若狭自動車道が北陸 沽力あふれるまち、敦賀を目指していきたい。 **巻く環境を十分見据えながら、今年の干支が** のエネルギー政策の方向性など、地域を取り かなければならない。新し 元企業への移転などによる、新しい産業の創 誘致さらには、新たな省エネルギー技術の地 →ネルギーに関する先端。 体となって、原子力を基軸としながら、多様な 敦賀港は積極的なポート 目動車道と結ばれ、全線開通となることで、交 の前倒し着工による、一日 『味する「再生」、「新しい誕生」の実現を目指し、 ました。有馬会頭より 100名が出席し、新 月21日に敦賀商工会議所議員をはじめ、 企業の育成や企業の 行政の産・官・学が一 セールスによる物流 ねばならない。また、 も早い県内での全線 「北陸新幹線は工事 台議員懇談会を開催 い交通インフラや国 市と強い共動の下、